



杉の木だね。  
50年くらいかな。  
家を建てるときに使うんだよ。

ぼくたちは50年前の人たちが  
育ててきた木を  
家や家具に使い  
そして50年後の人たちが  
また木を使えるように  
森を管理しているんだ。

こんなに大きく  
なるまで  
何年くらいかかるの？

すごい  
100年の森  
なんだね！



仙台から登米に引っ越してきた  
しょう太君(小5)は  
森に迷い込んでしまった。

あれ？  
地面がフカフカだ。

そこに現れたのは  
「森の案内人」竹中さん

よければいっしょに  
森を探検してみない？

教えて！  
かんばつ  
間伐って何？

森の中ってうす暗いのかと  
思っていたけど、  
木と木の間があいていて  
明るいんだね。

森が元気であるためには  
かんばつ  
間伐しなければいけないんだ。  
かんばつ？



間伐することで  
木と木の間に  
太陽の光を入れたり  
下草が増えて動物が  
住めるようになるんだ。

せつかく育った  
木を切るなんて  
かわいそうだよ。

混みすぎた木を  
抜き切りする  
ことだよ。

そうなんだ！

知りたい！  
「おかえりモネ」  
の世界

## 登米の木はこんな製品に生まれかわる

みなさんの身近なところで、たくさん登米の木は使われています。  
どこに使われているか、みんなで探してみよう。

くじゅう  
組手仕



木の凸と凹を組みあわせて家具  
を作ることができます。東日本大  
震災で大活躍しました。

がっこう  
学校の机



登米の小中学校の机は登米の  
コナラという木から作られてい  
ます。

イス



みんなの家やレストランのイスも、  
登米の木で作られているかも。

もっと  
知りたい

### 【かんばつ 間伐について】

山に木を植えるときには2メートル間隔くらいで植えて、まっすぐ丈夫に育つ木  
だけを残して間引くんだ。これを「かんばつ」と言うんだよ。また、かんばつした木も、食器  
などの小物や割りばしなどにムダなく使っているよ。

教えて!

## 森林セラピー

広葉樹といって、春から夏にかけて葉の色がだんだんこくなって秋には紅葉するんだ。

ここはさつきとちがって葉っぱが明るい緑でいろいろな木があるね。

森には気持ちを安らかにする「森林セラピー」の効果があるんだ。

森の中を歩くのってこんなに気持ちいいんだね。

転校してきて不安だったけどなんだかスッキリしたよ!

### 【森林セラピーについて】

もっと知りたい

森の中に入ったら、まずは、安全なところで目を1分ほどつぶって静かにしてみよう。風のそよ音や鳥のさえずりがよく聞こえるよ。その後大きく深呼吸してみよう。とっても気持ちよくてスッキリするよ。

教えて!

## 森で活躍する機械

教えて!

## 木の年輪

木の年輪を見ればその年の気候がわかるんだよ。

え?それってどういうこと?

晴れの日が多い年は年輪の幅が小さく、雨の多い年は大きくなるんだ。

年輪ってすごいんだね!

すごい機械だね! 何をしているの?

ハーベスタといってね木を切りおしたり決められた長さに切ることができるんだ。

知りたい! 「おかえりモネ」の世界

## 森のしごと場

百音は森林組合の職員として森に関するいろいろな場所でしごとをしますが、実際のしごと場の様子を見てみましょう。

### 木材加工場



製材された木を机やイス、家を建てるときに使う柱や床板に加工するんだ。

### 木材市場



山から切り出された丸太がたくさんあるね。角材や板材に加工するための丸太を買うところだよ。

「おかえりモネ」の舞台となった登米市は林業がとても盛んな市です。

市や森林組合は心とカラダの健康にいかしていく「森林セラピー」に取り組んでいます。

知りたい! 「おかえりモネ」の世界

## 「森」と「海」と「天気」のつながり

「おかえりモネ」では主人公の百音は海辺の町・気仙沼から登米市に引っ越します。そして森と海が繋がっていて、それには「天気」が大切な役目をしていることに気がつきます。



森の案内人 竹中さんのお話



「森は海の恋人」ということばを知っているかな?

海のカキはプランクトンという小さな生き物を食べて大きくなるんだ。このプランクトンを育てるのが、手入れの行き届いた森にある、落ち葉が腐ってできた養分なんだ。森に雨が降ると、この養分が川に少しずつ海に流れて、カキがおいしく育つんだよ。